

はじめにお読みください

このたびは、リーマン・チャイルド&ジュニアシートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には、必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。
この取扱説明書は、2枚で構成されています。お読みになった後も紛失されないように大切に保管(座面側面の収納ポケット)し、必要に応じてお読みください。

取扱説明書 保証書付

商品名 **フィーカ** 型式：1024
年少者用補助乗車装置 G 1、II、III

- 本装置は「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則 No.44 の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。
- 車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると記載されている場合は、装置が正しく取り付けられることはほぼ確実です。
- 本装置は、認可された車両がUN/ECE規則 No.16または同等の基準で認可された3点式/巻取り装置なし/巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。
- 年少者用補助乗車装置は、この注意書きが貼付されていない従来の設計よりも厳しい条件に基づいて「汎用」装置に分類されています。
- 疑問があるときは、年少者用補助乗車装置のメーカーが販売店にご相談ください。

■お使いいただく前に

本書の見方	●もくじ右表記の「1、2、3、4」は取扱各面左上の番号を表します。
●お使いいただく前に	●もくじ内容に沿って、説明見出し
もくじ	●もくじ右表記の「1、2、3、4」は取扱各面左上の番号を表します。
表示マークについて	(A-1、A-2・・・)の順でお進みください。
各字種の体重にあわせて使い方	●D-7 車への取り付け方
シートベルトの種類と使用上の注意	●D-8 お子さまの座らせ方
取り付けできない座席	●D-9 ベルトガイドの調節の仕方
安全にお使いいただくために	●D-10 ハイバックモードの取り付け完了チェック
●組み立て	●E-1 使用上の準備
背もたれの取り付け方	●E-2 車への取り付け方
ヘッドサポートとランパーサポートの	●E-3 お子さまの座らせ方
取り付けと使い方	●E-4 プラスターモードの取り付け完了チェック
カップホルダーの取り付け方	●F-1 ●チャイルドモードへの戻し方
●チャイルドモードの使い方	幼児ベルトと肩ベルトハンガーの取り出し
使用上の準備	幼児ベルトの取り付け
車への取り付け方	●F-2 幼児ベルトの仕方
チャイルドモードの取り付け完了チェック	ヘッドサポートとランパーサポートの
お子さまの座らせ方	取りはずし
●ハイバックモードの使い方	幼児ベルトの収納と取り出し
使用上の準備	ヘッドレストカバーの取りはずし
ハイバックモードへの変更の仕方	背もたれカバーの取りはずし
バックルの収納	座面カバーの取りはずし
肩ベルトハンガーの収納	洗濯方法/日常のお手入れ方法
幼児ベルトの収納	
背もたれを取り付ける	
	●D-1 使用上の準備
	●D-2 ハイバックモードへの変更の仕方
	●D-3 バックルの収納
	●D-4 肩ベルトハンガーの収納
	●D-5 幼児ベルトの収納
	●D-6 背もたれを取り付ける
	●G-1 使用上の準備
	●G-2 車への取り付け方
	●G-3 チャイルドモードの取り付け完了チェック
	●G-4 幼児ベルトの収納と取り出し
	●G-5 幼児ベルトの収納
	●G-6 背もたれを取り付ける
	●G-7 使用上の準備
	●G-8 ハイバックモードへの変更の仕方
	●G-9 バックルの収納
	●G-10 肩ベルトハンガーの収納
	●G-11 幼児ベルトの収納
	●G-12 背もたれを取り付ける
	●H-1 使用上の準備
	●H-2 ハイバックモードへの変更の仕方
	●H-3 バックルの収納
	●H-4 肩ベルトハンガーの収納
	●H-5 幼児ベルトの収納
	●H-6 背もたれを取り付ける
	●I-1 使用上の準備
	●I-2 ハイバックモードへの変更の仕方
	●I-3 バックルの収納
	●I-4 肩ベルトハンガーの収納
	●I-5 幼児ベルトの収納
	●I-6 背もたれを取り付ける
	●J-1 使用上の準備
	●J-2 ハイバックモードへの変更の仕方
	●J-3 バックルの収納
	●J-4 肩ベルトハンガーの収納
	●J-5 幼児ベルトの収納
	●J-6 背もたれを取り付ける
	●K-1 使用上の準備
	●K-2 ハイバックモードへの変更の仕方
	●K-3 バックルの収納
	●K-4 肩ベルトハンガーの収納
	●K-5 幼児ベルトの収納
	●K-6 背もたれを取り付ける
	●L-1 使用上の準備
	●L-2 ハイバックモードへの変更の仕方
	●L-3 バックルの収納
	●L-4 肩ベルトハンガーの収納
	●L-5 幼児ベルトの収納
	●L-6 背もたれを取り付ける

A-2 表示マークについて

	警告	記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
	注意	記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
	×	図示されている内容の禁止を示しています。
	Check	安全のため、かならず確認していただきたいこと。
	アドバイス	より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。

A-4 お子さまの体重にあわせた使い方

お子さまの体重に合わせ、3つのモードで使用します。

体重	9kg以上～18kg以下	15kg以上～25kg以下	22kg以上～36kg以下
身長のみやす	70～105cm	98～120cm	117～145cm
年齢のみやす	1才頃～4才頃	3才頃～7才頃	6才頃～11才頃
モード	チャイルドモード	ハイバックモード	プラスターモード

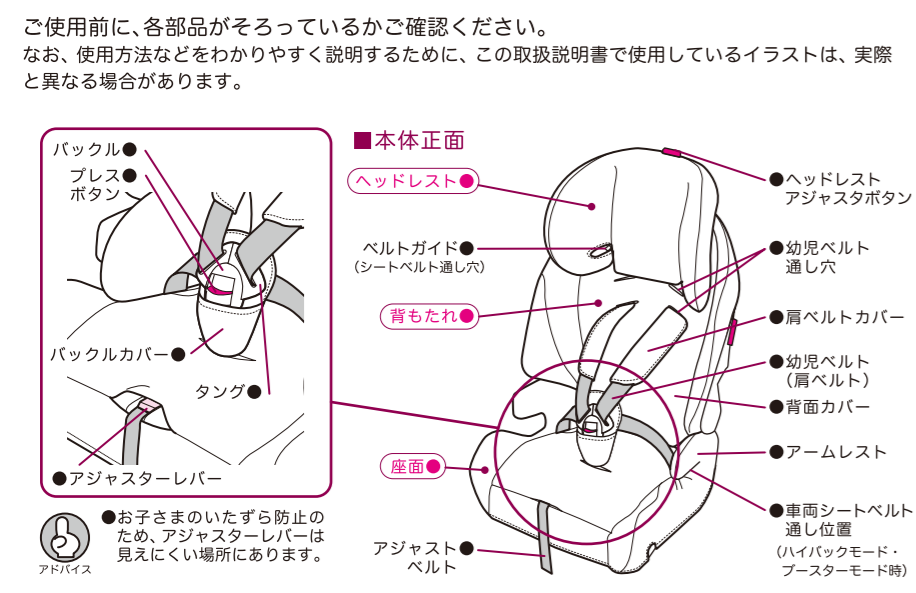
使用状況:

使用方法: 本製品を車両シートベルトで座席に取り付け、本製品の幼児ベルトでお子さまを拘束します。
 幼児ベルトは使用せず、車両シートベルトでお子さまを拘束します。
 肩が上段ベルト通し穴より低く、体重が18kg以下の場合にはできる限りチャイルドモードを使用することをおすすめします。

取得説明書(保証書付) ●お客様登録カード ※必ず返送してください ●プライバシーシール

取得説明書(保証書付) ●お客様登録カード ※必ず返送してください ●プライバシーシール

A-3 各部の名称



A-5 シートベルトの種類と使用上の注意

車種適合につきましては当社サイトにてご確認ください。URL: www.leanman.co.jp

本装置は車両が3点式/巻取り装置なし/巻取り装置付座席ベルトを装着している場合に使用できます。

●車両には、各種のシートベルトが装備されています。それぞれの特徴も違い、取り付け方法も変わってきます。本製品を正しく安全に使用するために、お客さまの車両(シートベルト)に合った取り付け方法で装着してください。

●車両シートベルトの種類 (○: 取り付け可能 ×: 取り付け不可 ※: 下表参照)

	巻取装置有り				巻取装置無し
	ELR付	ALR付	NLR付	パッシブ	
3点式	○	※	○	×	○

●取り付け可能なシートベルト

特徴	チャイルドモード	ハイバックモード/プラスターモード
ELR・ALR付3点式シートベルト(チャイルドシート固定機構付ベルト巻取装置)	通常はELRベルトとして機能しますが、ベルトを全量引き出し、ALR機能が切り替わり、戻す方向にベルトが自動的にしめるシートベルトです。また、ベルト全量戻したときにはELR機能に戻ります。	本製品をロックオフレバーでしっかりと固定してから、シートベルトを全部引き出し、ALR機能が切り換えてください。
ALR付3点式シートベルト(自動ロック式ベルト巻取装置)	ベルトを引き出す途中で手を止めると自動的にベルトがロックされ、それ以上引き出せません。	本製品を固定するのに必要なだけの長さを一気に引き出してから、本製品をロックオフレバーでしっかりと固定してください。
ELR付3点式シートベルト(緊急ロック式ベルト巻取装置)	通常は、ベルトが自由に入り、衝撃(急ブレーキなど)を感知したときに、ベルトがその時点で伸びなくなりロックされます。	肩ベルトをロックオフレバーでしっかりと固定してください。
NLR付3点式シートベルト	ロック機構がなく、ベルトを全量引き出した状態で長さを調節します。	巻き取り装置から全量引き出し、本体の取り付けに合わせシートベルトの長さを調節し、固定します。
パッシブシートベルト	座席に乗ってドアを開けると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。	本製品を固定することができません。
その他のシートベルト	表記されていないものすべて。	本製品を固定することができません。

▲取り付けの際は、装着車両の取扱注意 説明書も確かめください。

A-6 取り付けできない座席

警告 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

- シートベルトの付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- 座席の奥行きが43cm以下の座席。
- シートベルトのバックルが座席の中央寄りについている座席。
- 車両バックルの位置が高く、本製品を固定できない座席。
- エアバッグが装備されている座席。(サイドエアバッグのみ場合は使用できます。)

A-7 安全にお使いいただくために

●3点式シートベルトで上下取り付け部が共に巻取り式の座席。(衝突の際にショックを吸収できません。)

●車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。(衝突の際にショックを吸収できません。)

●極端なバケットタイプなどの座席。(取り付けたチャイルドシートが安定しません。)

●座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。

●その他、チャイルドシートを固定できない座席。

●パッシブシートベルト(座席に乗ってドアを開けると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。)のついた座席。

●チャイルドシートを取り付けた際に、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。(万一の場合乗員の安全が確保できません。)

●車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。(衝突の際にショックを吸収できません。)

●極端なバケットタイプなどの座席。(取り付けたチャイルドシートが安定しません。)

●座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。

●その他、チャイルドシートを固定できない座席。

A-7 安全にお使いいただくために

緊急時には..

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。

■チャイルドモード時

バックルのプレスボタンを押し、タンクプレートを押してシートベルトを解鎖し、お子さまをかかっているシートベルトを外します。

■ハイバック/プラスターモード時

車両バックルのプレスボタンを押してシートベルトのロックを解除し、お子さまにかかっているシートベルトを外します。

●お子さまを乗せる際には、チャイルドシートの取り付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態で行ってください。)

●チャイルドシートにお子さまを乗せたまま車両への取り付け・取り外しはおやめください。

●お子さまがチャイルドシートの上で立ち上がった時、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。

●衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。

●お子さまの乗り降りの際など、チャイルドシートのアームレストの端に体重をかけるなど、転倒してケガなどを誘発するおそれがあります。

●車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。チャイルドシートと車両シートが接する面にはタールなどをあて、ご使用ください。

●可動式シートまたは車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)がはさまれないようにチャイルドシートを取り付けてください。

●お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。

A-7 安全にお使いいただくために

警告 *記載内容を守らないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- チャイルドシートを助手席に取り付けたとき、チャイルドシートとシフトノブやサイドブレーキなどが干渉する場合があります。干渉する場合には助手席での使用をやめ、後部座席でご使用ください。
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取り付けないでください。
- お子さまが、バックルのプレスボタンを押さないように注意してください。ときどきタンクプレートがバックルからはずれていないことを確認してください。
- 保護者が各部分に触れて、やけどしないことを確認の上、お子さまを乗せてください。
- 背もたれのみでは使用しないでください。
- お子さまが乗っていない場合、チャイルドシートはトランクに収納し、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。
- チャイルドシートを改造したり、カバー類・ウレタンなどは取りはずして使用しないでください。
- 1時間以上連続して使用しないでください。
- シートカバーを外したまま使用しないでください。

A-7 安全にお使いいただくために

注意 *記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

- お子さまを乗せる際には、チャイルドシートの取り付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態で行ってください。)
- チャイルドシートにお子さまを乗せたまま車両への取り付け・取り外しはおやめください。
- お子さまがチャイルドシートの上で立ち上がった時、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- お子さまの乗り降りの際など、チャイルドシートのアームレストの端に体重をかけるなど、転倒してケガなどを誘発するおそれがあります。
- 車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。チャイルドシートと車両シートが接する面にはタールなどをあて、ご使用ください。
- 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)がはさまれないようにチャイルドシートを取り付けてください。
- お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。

■組み立て

B-1 背もたれの取り付け方

本製品は「背もたれ」と「座面」がはずれた状態で梱包されています。チャイルドモード(本面C-1参照)や、ハイバックモード(D-1参照)で使用する場合、背もたれと座面を組み立てて使用します。

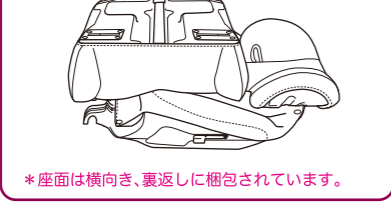
⚠️注意

- 組み立てる際は、製品の破損や床の傷つきを防ぐため、平らで美しい床で作業してください。
- 組み立てる際は、周辺の人や物に気をつけ、指などをはさまないように注意して行ってください。
- 組み立てたチャイルドシートを持ち運ぶ際には、図のように持ち、背もたれと座面の間に指などをはさまないように注意してください。
- 組み立てたチャイルドシートの背もたれと座面の接合部は前後に動きます。

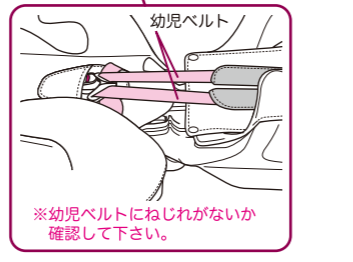
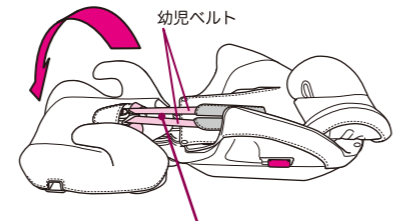
背もたれの取り付け

1 梱包状態から座面をひっくり返し右図のようにし、幼児ベルトにねじれがないか確認する。

■梱包状態

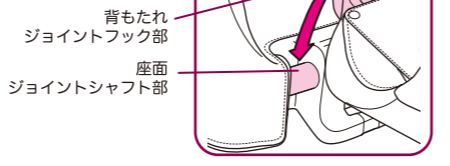
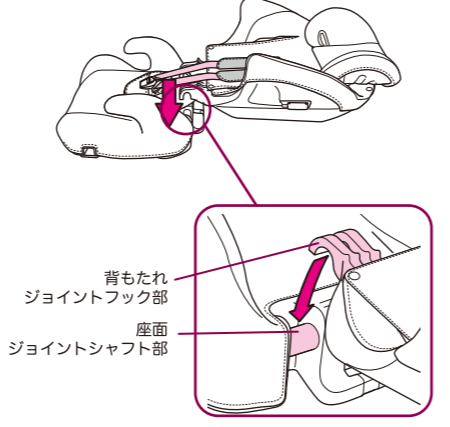


*座面は横向き、裏返しに梱包されています。



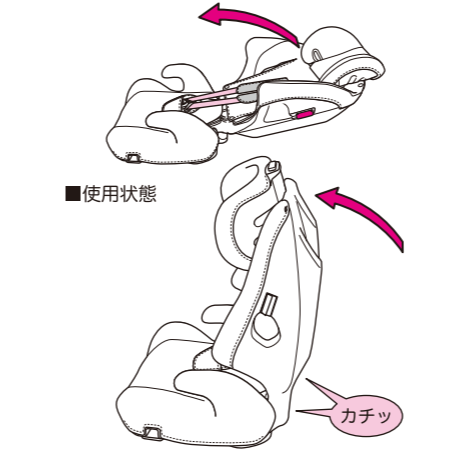
*幼児ベルトにねじれがないか確認して下さい。

2 背もたれ下部のジョイントフック部を座面の後部のジョイントシャフト部に上から差し込む。



*取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

3 ベルト等をはさまないように注意しながら、ゆっくりと背もたれを「カチッ」と音がするまで起こす。



■使用状態

⚠️注意

- 使用前に、必ず次の内容を確認してください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。
- お子さまをチャイルドシートに座らせる前に、背もたれと座面がしっかり接合されているかをご確認ください。
- チャイルドモードで使用する場合、アームレストの外側を幼児ベルトが通っていないかをご確認ください。
- 幼児ベルト等が座面と背もたれのジョイント部にはさまれないかをご確認ください。

背もたれの取りはずし

B-2 ヘッドサポートとランバーサポートの取り付けと使い方

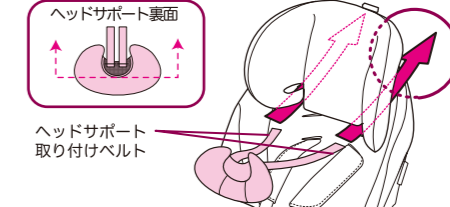
ヘッドサポートとランバーサポートは、チャイルドモード(本面C-1参照)でのみ使用できます。お子さまの体形に合わせ任意にご使用ください。

⚠️注意

- ヘッドサポートは頭周りのクッションとして使用する部品ですが、体型によりお子さまが不快感を感じるようであれば、使用を中止してください。
- 取りはずしたヘッドサポートやランバーサポートは車内に放置しないでください。
- 急ブレーキをかけたときやカーブを曲がる際、車内に転がり、運転に支障をきたすおそれがあります。
- チャイルドシートを持ち運ぶ際は、ヘッドサポートやランバーサポートを持って運ばないでください。
- 製品が落下し、製品の破損や床を傷つけるおそれがあります。
- ヘッドサポートやランバーサポートは、この取扱説明書に記載されている使用方法以外では使用しないでください。

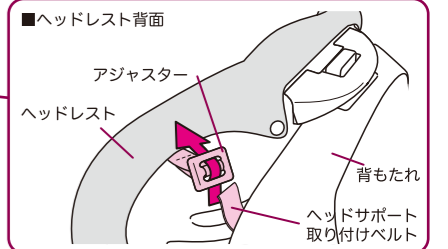
ヘッドサポートの取り付け

①上下を確認し、ヘッドサポート取り付けベルトを、ヘッドレストの下を通し後ろにまわす。



*取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

②ヘッドサポート取り付けベルトをヘッドレストカバーの内側にあるアジャスターに通す。

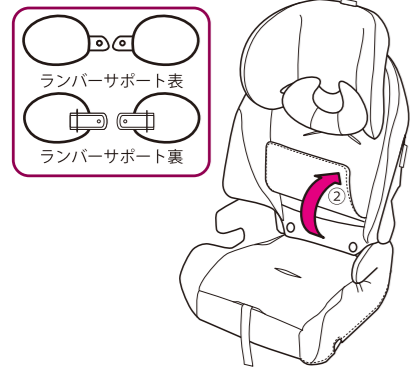


ヘッドサポートの取りはずし

B-2 ヘッドサポートとランバーサポートの取り付けと使い方

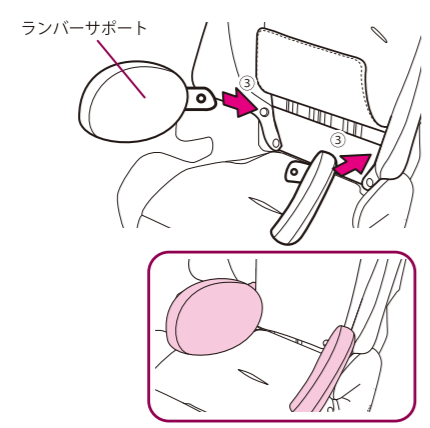
ランバーサポートの取り付け

- ①取り付ける向きと表裏を確認する。
- ②背もたれの背面カバーをめくる。



*取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

③取り付ける方向に注意して、左右のランバーサポートを背面カバー裏側のフックにそれぞれ留める。

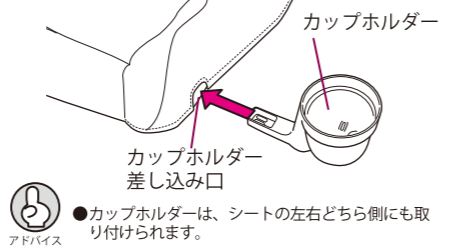


ランバーサポートの取りはずし

B-3 カップホルダーの取り付け方

カップホルダーの取り付け

カップホルダーを座面横にあるカップホルダー差し込み口に「カチッ」という音で差し込む。

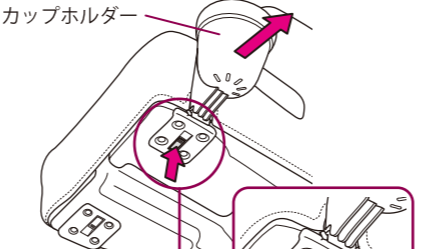


●カップホルダーは、シートの左右どちら側にも取り付けられます。

- 熱い飲物などをカップホルダーに入れないでください、やけどをすることがあります。
- カップホルダーが車両のドアなどに干渉する場合、反対側に取り付けてください。
- ソフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作の邪魔になる場合、助手席では使用しないでください。
- カップホルダーにお子さまが体重をかけないように、ご注意ください。破損するおそれがあります。

カップホルダーの取りはずし

座面の底にある固定つめを押しながら、カップホルダーを引き抜く。



●カップホルダーはすべてのボルトサイズ、カップサイズには適応していません。飲物のフタを開める等、走行中も中身がこぼれないことを確認してから、使用してください。

- 熱い飲物などをカップホルダーに入れないでください、やけどをすることがあります。
- カップホルダーが車両のドアなどに干渉する場合、反対側に取り付けてください。
- ソフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作の邪魔になる場合、助手席では使用しないでください。
- カップホルダーにお子さまが体重をかけないように、ご注意ください。破損するおそれがあります。

■チャイルドモードの使い方 C-1 使用前の準備

使用前の準備

体重	9kg以上~18kg以下
身長のみやす	70~105cm
年齢のみやす	1才頃~4才頃
使用方法	チャイルドシートを車両シートベルトで座席に取り付け、チャイルドシートの幼児ベルトでお子さまを拘束します。



幼児ベルトの高さ調節

お子さまの肩の高さに合わせ、幼児ベルト通し穴の位置を決めてください。

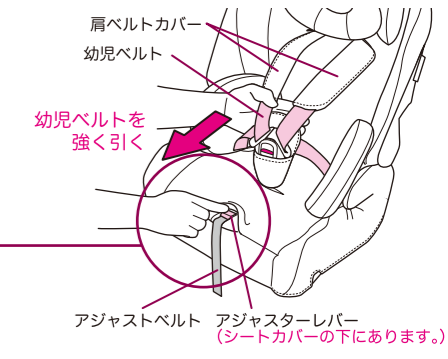
- 1 幼児ベルト通し穴の位置を決める。お子さまをチャイルドシートに深く座らせ、適切な幼児ベルト通し穴の位置を確かめる。
- 幼児ベルト通し穴の位置は、お子さまの肩と同じ高さか、上部の幼児ベルト通し穴をご使用ください。
- 左右同じ高さの幼児ベルト通し穴をご使用ください。
- *バックルの長さや位置は調節できません。幼児ベルトを調節してください。



お子さまの肩の高さに合わせて、幼児ベルトを調節します。

- 2 幼児ベルトを引き出す。座面のシートカバーの下のアジャスターレバーの奥側を押しながら、左右両方の幼児ベルトを強く引き、すべて引き出す。
- *肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。肩ベルトカバーは本体背面でつながっており引いてもゆるみません。

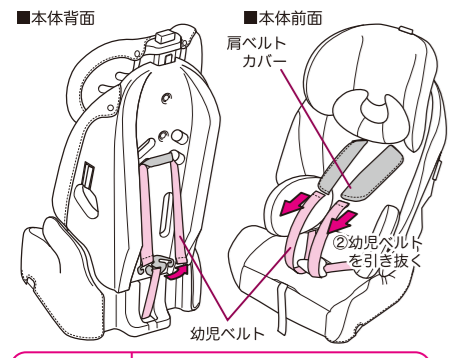
- お子さまのいたずら防止のため、アジャスターレバーは見えにくい場所にあります。
- アジャスターレバーは、奥側を確実に押ししてください。
- アジャスターレバーが動かない場合は、アジャスターベルトを手前に引きながら、アジャスターレバー奥側を強く押し込んでください。



C-1 使用前の準備

3 幼児ベルトを取りはずす。

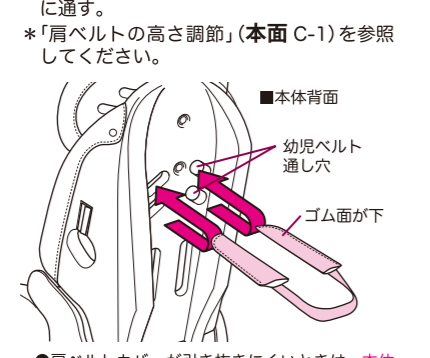
- ①本体背面の肩ベルトハンガーから左右の幼児ベルトをはずす。
- ②肩ベルトカバーから幼児ベルトを引き抜く。
- *肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトを引いてください。



- 肩ベルトカバーが引き抜きにくいときは、本体正面から肩ベルトカバーの先端を幼児ベルト通し穴に押し込むようにし、本体背面から引き抜いてください。

4 肩ベルトカバーの位置を変える。

- ①本体背面から肩ベルトカバーを左右片方ずつ引き抜き、一度取りはずす。
- *左右の肩ベルトカバーは、本体背面で連結ベルトにてつながっています。
- ②肩ベルトカバーを適切な幼児ベルト通し穴に通す。
- *「肩ベルトの高さ調節」(本面C-1)を参照してください。



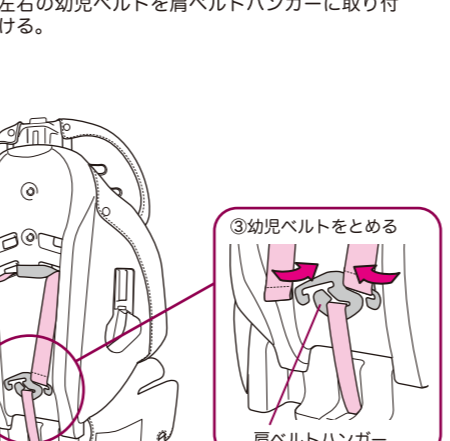
- 肩ベルトカバーが引き抜きにくいときは、本体正面から肩ベルトカバーの先端を幼児ベルト通し穴に押し込むようにし、本体背面から引き抜いてください。

5 幼児ベルトを取り付ける。

- ①幼児ベルトを肩ベルトカバーに、ねじれがないように通す。
- ②本体背面に幼児ベルトを引き出す。
- ③左右の幼児ベルトを肩ベルトハンガーに取り付ける。



④幼児ベルトをとめる



C-2 車への取り付け方

取り付けの注意

車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。「取り付けできない座席」(A-6)を参照してください。

- 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。※サイドエアバッグのみ装備されている場合は使用できます。
- 車両シートベルトに傷があると、万一のときにベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。その場合は他の座席に取り付けてください。
- 車両シートベルト以外のひもなどは固定しないでください。
- チャイルドシートを助手席に取り付けるとき、チャイルドシートとソフトノブやサイドブレーキなどが干渉する場合があります。干渉する場合は助手席でのみ使用してください。
- お子さまが寝ていない場合、チャイルドシートはトラックに収納しておくか、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取り付けないでください。

取り付ける前に

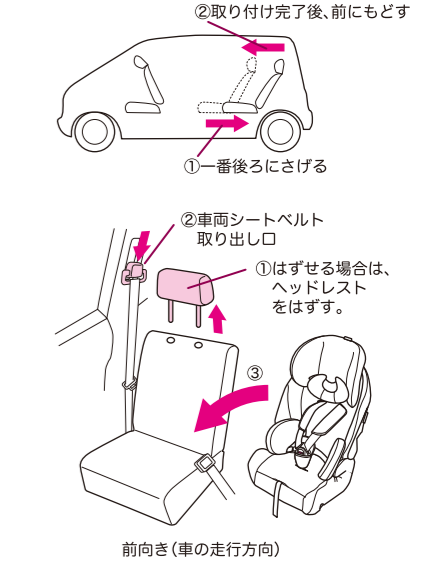
- 1 取り付け作業は、ドアを全開できる、平坦な場所でおこなってください。
- 2 作業スペース確保のため、車両前部座席を前にスライドさせ、前に倒してください。



座席の準備

1 チャイルドシートを正しく取り付けるため、車の座席を調節する。

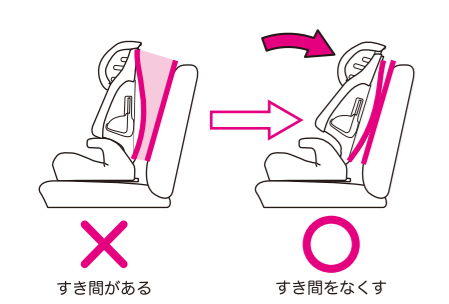
- ①座席のヘッドレストをはずせる場合は、ヘッドレストをはずす。
- ②車両シートベルトの高さが調節できる場合は、最下段まで下げる。
- ③チャイルドシートを前向きに置く。



C-2 車への取り付け方

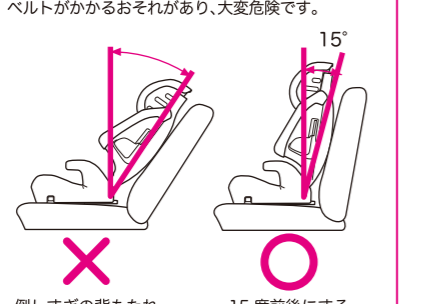
2 車両の座席の背もたれとチャイルドシートとの間に、すき間ができないよう調節する。

- 車両の座席の背もたれがリクライニングできない場合は、座席との間にすき間ができないようチャイルドシートの背もたれ角度を調節してください。



⚠️警告

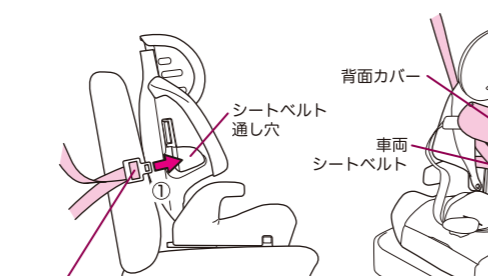
- 座席の背もたれがリクライニングできる場合は、チャイルドシートの背もたれ角度が15度前後になるよう調節してご使用ください。倒しすぎた状態を使用すると、衝突の際などにお子さまの体が車両シートベルトの下をすり抜けたら、首にベルトがかかるおそれがあり、大変危険です。



車への取り付け方

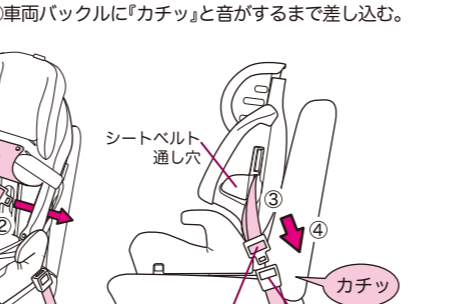
1 車両シートベルトを取り付ける。

- ①車両シートベルトにねじれが発生しないよう、ゆっくりと引き出し、シートベルト通し穴に通す。
- ②背もたれの背面カバーをめくり、車両シートベルトがねじれていないことを確認する。
- ③車両バックルのタングを反対側のシートベルト通し穴から出す。
- ④車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。



⚠️警告

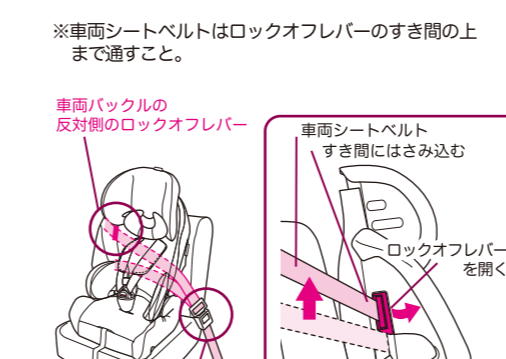
- 車両バックルの反対側のロックオフレバーのみを使用してください。



*取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

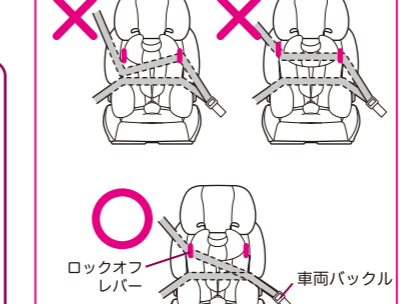
2 ロックオフレバーに車両シートベルト(肩側)をセットする。

- ①車両バックルと反対側のロックオフレバーを開いて、車両シートベルト(肩側)をはさむ。
- *車両シートベルトはロックオフレバーのすき間の上まで通すこと。



⚠️警告

- 車両バックルの反対側のロックオフレバーのみを使用してください。

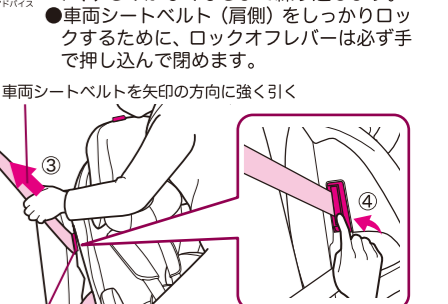


3 車両シートベルトのゆるみをなくし、チャイルドシートをしっかりと固定する。

- ①座席の上から体重をかけて、チャイルドシートを車両座席に沈み込ませる。
- ②車両バックルの上の車両シートベルト(肩側)を強く引いて、車両シートベルト(腰側)のゆるみをなくす。
- ③ロックオフレバーの上の車両シートベルトを強く引いて、車両シートベルト(肩側)のゆるみをなくす。
- ④ロックオフレバーを手で押し込んで、車両シートベルトをしっかりとらさむ。



- 体重をかけて沈ませたまま、②と③を同時に、ゆるみがなくなるまで繰り返します。
- 車両シートベルト(肩側)をしっかりとロックするために、ロックオフレバーは必ず手で押し込んで閉めます。



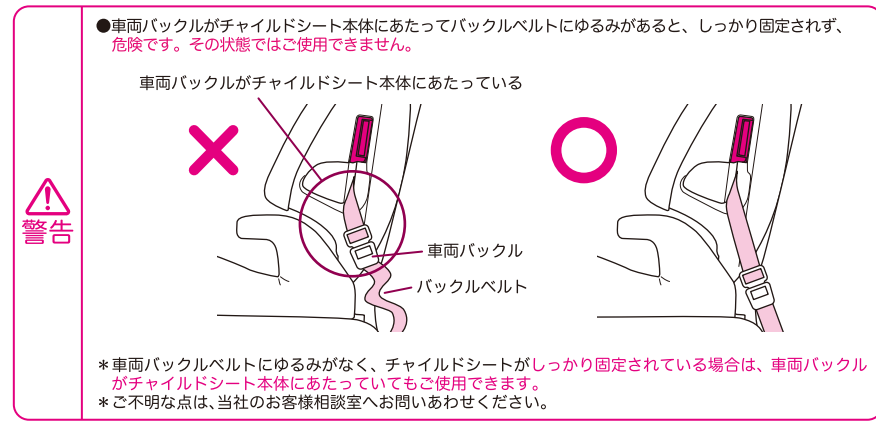
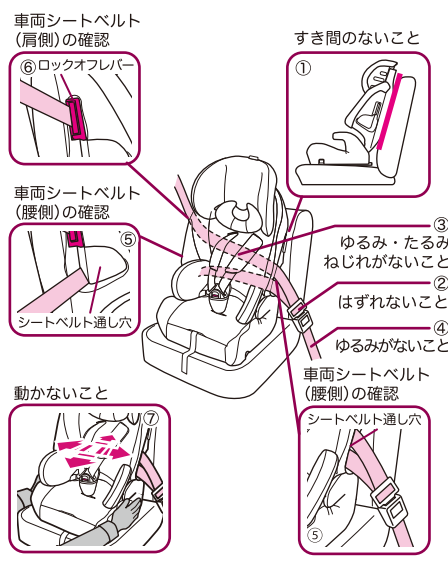
本製品の取りはずし

C-3 チャイルドモードの取り付け完了チェック

チャイルドモードの取り付け完了チェック

Check 取り付けが完了した後、必ず確認してください。

- ①チャイルドシートと車両の座席との間に大きなすき間がないこと。
 - ②車両シートベルトのタンクが車両バックルに確実に差し込まれていて、はずれないこと。
 - ③車両シートベルトが強く張られ、ゆるみ・たるみやねじれがないこと。
 - ④車両バックルベルトにゆるみがないこと。
 - ⑤車両シートベルト(腰側)が、左右のベルト通し穴の下にかかっていること。
 - ⑥車両シートベルト(肩側)が、車両バックルと反対側のロックオフレバーで確実にロックされていること。
 - ⑦座面を前後左右にゆすり、約 3cm 以上動かないこと。
- ※構造上、座面が上下に動く場合がありますが、使用上問題はありません。



●車両バックルがチャイルドシート本体にあたってバックルベルトにゆるみがあると、しっかり固定されず、危険です。その状態ではご使用できません。

●車両バックルがチャイルドシート本体にあたっている

●車両バックルベルトにゆるみがなく、チャイルドシートがしっかり固定されている場合は、車両バックルがチャイルドシート本体にあたっていてもご使用できます。

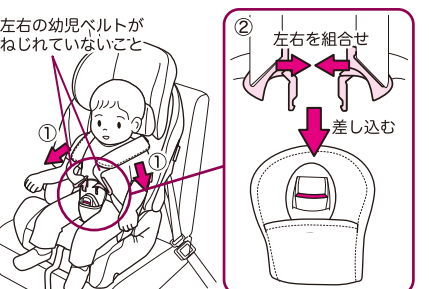
※ご不明な点は、当社のお客様相談室へお問い合わせください。

以上の項目をチェックして、しっかり取り付けられていない場合は、もう一度 2 C-2 の手順で取り付けをやり直してください。やり直してもしっかり取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険です。

C-4 お子さまの座らせ方

3 お子さまを座らせる。

- ①お子さまを座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。
- ②タンクを左右組み合わせ、バックルに『カチッ』と音がするまで確実に差し込む。



3 タンクを引っ張り確実に差し込まれたことを確認する。



●左右のタンクが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突の際などにお子さまが飛び出したり、幼児ベルトが首にかかり窒息するおそれがあります。

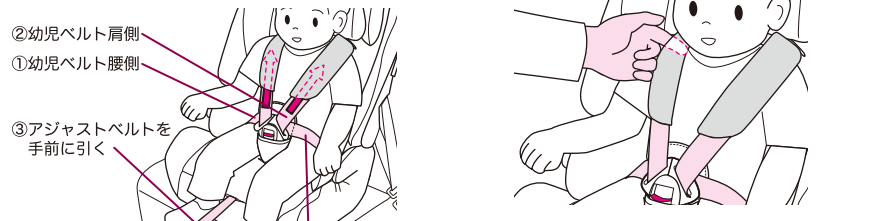
●バックル部分は異物が詰まったり、飲み物がかかると、ロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。

警告 ●保護者の方が各部分に触れ、やけどなどをしないことを確認してください。

●バックルのプレスボタンは、お子さまが誤って解除できないように固くしてあります。

4 幼児ベルトを調節する。

- ①幼児ベルト(腰側)が腰骨のできるだけ低い位置にかかるように調整して、腰部に密着させる。
- ②幼児ベルト(肩側)が肩の真ん中にかかるよう調整する。
- ③アジャストベルトを引いて、幼児ベルトのゆるみをなくす。



●幼児ベルトの長さはお子さまの首の骨と肩の骨の間に入る程度が適切です。

●幼児ベルトをゆるめるときは、「幼児ベルトを長くする」(本面 C-4)を参照してください。

●幼児ベルトの長さは必ず調節してください。お子さまに密着していないと、衝突の際などにお子さまが飛び出したりするおそれがあります。

●幼児ベルトをたるんだ状態で使用すると、幼児ベルトがお子さまの首にかかり、窒息するおそれがあります。

*幼児ベルト(腰側)は低く下げ、必ずお子さまの骨盤を拘束すること。

D-1 ハイバックモードの使い方

使用前の準備

体重	15kg以上~25kg以下
身長	98~120cm
年齢	3才頃~7才頃
使用方法	幼児ベルトは使用せず、車両シートベルトで お子さまを拘束します。ベルトガイドを使用して、 車両シートベルト(肩側)をお子さまの肩の 高さに合わせます。(D-3参照)

●肩が上段ベルト通し穴より低く、体重が18kg以下の場合にはできる限りチャイルドモード(2 C-1参照)でのご使用をおすすめします。

警告 ●本製品は3点式シートベルト専用です。2点式シートベルトでは使用できません。

●お子さまが座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけた際など、車内に転がり、大変危険です。

●車両シートベルトがチャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を使用しないでください。お子さまが締め付けられ危険です。「シートベルトの種類と使用上の注意」(1 A-5)を参照してください。

●車両シートベルトがたるんだ状態で使用すると、ベルトがお子さまの首にかかり、窒息するおそれがあります。ゆるみがないか確認してからご使用ください。

●車両シートベルトに傷がある座席には取り付けしないでください。

D-2 ハイバックモードへの変更の仕方

ハイバックモードへの変更の仕方

チャイルドモード(2 C-1参照)で使用していた幼児ベルト、バックル、肩ベルトハンガーは本体に収納します。取りはずさないでください。また、取り付け金具の位置を変更したり取りはずしたりしないで下さい。(本面 D-3参照)

注意 ●チャイルドシートを車の座席から降ろしてから、モードの変更を行ってください。

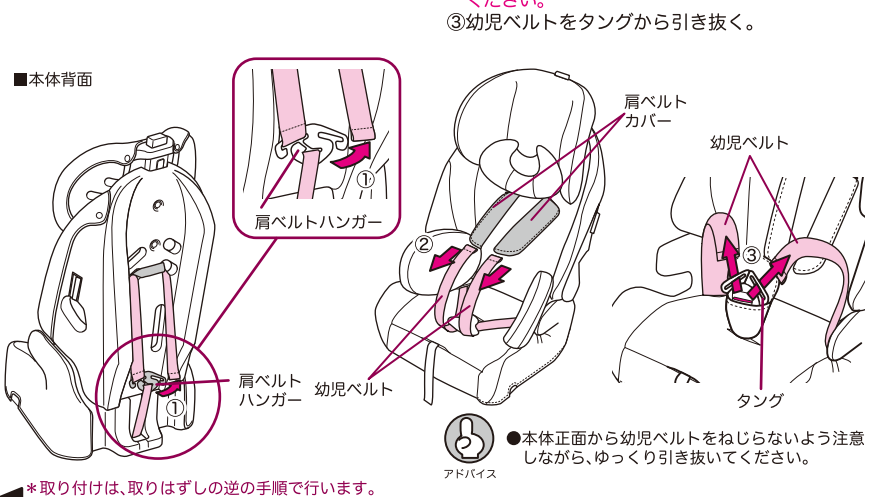
- バックルカバー、肩ベルトカバーの取りはずし
- ①左右のタンクを組み合わせ、『カチッ』と音がするまでタンクをバックルに差し込む。
 - ②座面前方のシートカバー下のアジャスターレバーの奥側を押しながら、左右の幼児ベルトを手に引き、ゆるめる。
- *肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。肩ベルトカバーは本体背面でつながっており引いてもゆるみません。



*取り付けは、取りはずしの逆の手順で行います。

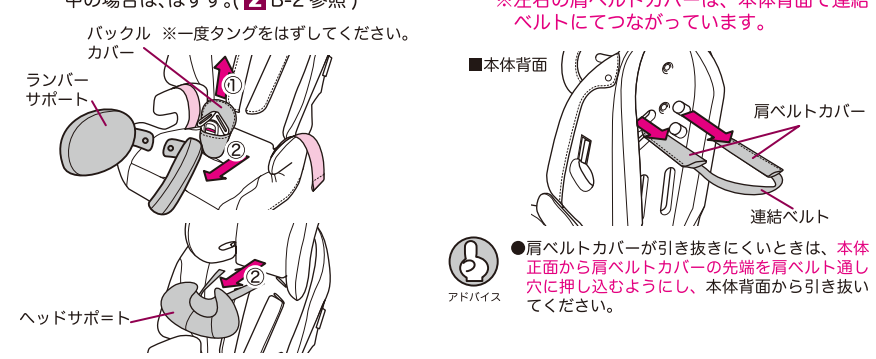
D-2 ハイバックモードへの変更の仕方

2 ①本体背面の肩ベルトハンガーから左右の幼児ベルトをはずす。



*取り付けは、取りはずしの逆の手順で行います。

2 ②幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。



●本体正面から幼児ベルトをねじらないよう注意しながら、ゆっくり引き抜いてください。

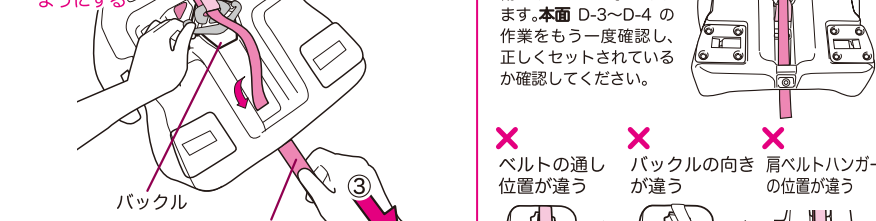
注意 ●取りはずしたバックルカバー、肩ベルトカバーなどは大切に保管し、なくさないようにしてください。

- バックルカバー
- ヘッドサポート
- 肩ベルトカバー
- ランバーサポート

幼児ベルトの取り付け

3 ①バックルカバーをはずす。

- ②ランバーサポート、ヘッドサポートを使用中の場合は、はずす。(2 B-2参照)
- ③幼児ベルトをタンクから引き抜く。



●バックルカバー、ヘッドサポート、肩ベルトカバー、ランバーサポート

警告 ●取りはずしたバックルカバー、肩ベルトカバーなどは大切に保管し、なくさないようにしてください。

肩ベルトハンガーの取り出し

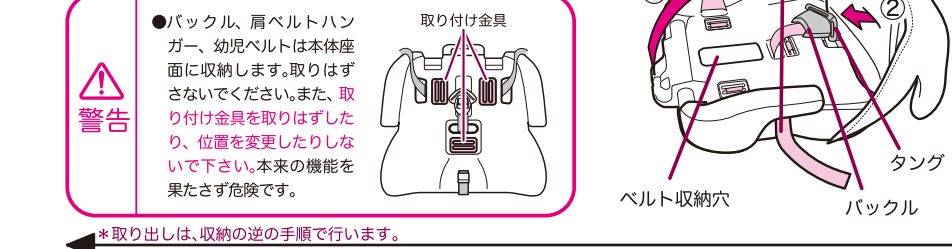
●アジャストベルトはゆるみがないよう、充分引いてください。アジャストベルトがゆるんだ状態で使用すると肩ベルトハンガーがはずれ危険です。

D-3 バックルの収納

バックルの収納

注意 ●座面から背もたれを取りはずした状態で(2 B-1参照)作業を行ってください。

- ①背もたれを取りはずし、座面カバー・ウレタンを取りはずす。(4 G-2参照)
 - ②幼児ベルトとバックルをカバーから引き抜く。
- *バックルからタンクを外し、カバーから引き抜いてください。引き抜いた後は必ずタンクを差し込んでください。

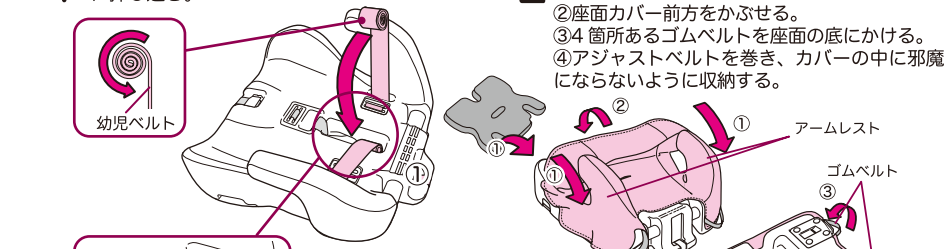


*取り出しは、収納の逆の手順で行います。

D-4 肩ベルトハンガーの収納

肩ベルトハンガーの収納

- ①肩ベルトハンガーを底面にまわす。
- ②下側のアジャストベルトを肩ベルトハンガーのセンターのすき間に通す。
- ③肩ベルトハンガーをバックルの上に重ねながら、アジャストベルトを引く。



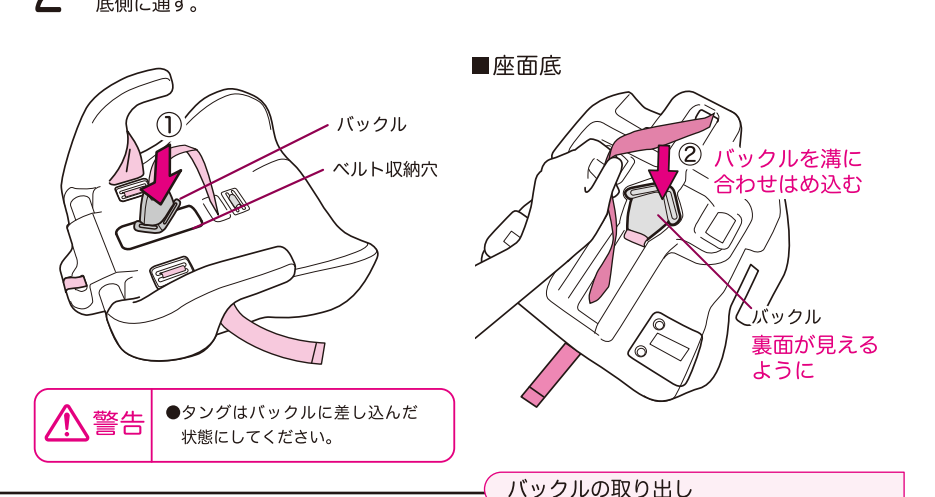
警告 ●肩ベルトハンガーのセンターのすき間を通るようにセットしてください。

警告 ●アジャストベルトはゆるみがないよう、充分引いてください。アジャストベルトがゆるんだ状態で使用すると肩ベルトハンガーがはずれ危険です。

肩ベルトハンガーの取り出し

*取り出しは、収納の逆の手順で行います。

2 ①バックルを座面中央のベルト収納穴から底側に通す。



警告 ●タンクはバックルに差し込んだ状態にしてください。

バックルの取り出し

D-5 幼児ベルトの収納

幼児ベルトの収納

- ①座面から背もたれを取りはずし、座面カバーを取りはずすから(4 G-2参照)作業を行います。
- ②座面カバー・ウレタンを取り付ける。(4 G-2参照)



警告 ●バックル、肩ベルトハンガー、幼児ベルトは本体座面に収納します。取りはずさないでください。また、取り付け金具を取りはずしたり、位置を変更したりしないで下さい。本来の機能を果たさず危険です。

幼児ベルトの取り出し

*取り出しは、収納の逆の手順で行います。

D-6 背もたれを取り付ける

背もたれを取り付ける

- ①背もたれ下部のジョイント(フック部)を座面の後部のジョイント(シャフト部)に上から差し込む。
- ②ゆっくりと背もたれを『カチッ』と音がするまで起こす。



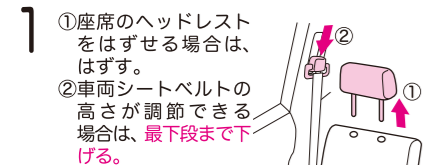
警告 ●取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

背もたれの取りはずし

*取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

D-7 車への取り付け方

車への取り付け方



警告: 車高の背もたれがリクライニングできる場合は、ジュニアシートの背もたれ角度が15度前後になるよう調節してください。傾しすぎた状態で使用すると、衝突の際などにお子さまの体が車両シートベルトの下をすり抜けたり、首にベルトがかかるおそれがあり、大変危険です。

- ジュニアシートを車両の座席に置いて、車両シートベルトを引き出す。
1 車両シートベルト(肩側)をベルトガイドに通す。(本面 D-9 参照)。
2 車両シートベルト(腰側)を左右のアームレスト下側のベルト通し位置に通す。
3 車両バックルにタングを「カチッ」と音がするまでに差し込む。

注意: お子さまが乗っていないときも、固定しておいてください。
警告: ベルトガイドはハイバックモードで使用します。チャイルドモードでは使用しないでください。

D-8 お子さまの座らせ方

お子さまの座らせ方

以下の点に注意し、ジュニアシートに深く座らせてください。

警告: 本製品は車両シートベルトで固定していない状態では不安定なため、お子さまが1人で乗り降りすると転倒などによりケガなどをされるおそれがあります。必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
注意: 座面と背もたれの間を衣服をはさむおそれがあります。ご注意ください。

一度タングをはずしておき、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して、車両バックルにタングを「カチッ」と音がするまで差し込む。

警告: お子さまの腕は必ず車両シートベルトの上に出してください。
注意: 座面と背もたれの間を衣服をはさむおそれがあります。ご注意ください。

D-9 ベルトガイドの調節の仕方

ベルトガイドの調節の仕方

1 車両シートベルト(肩側)を本製品のヘッドレストにあるベルトガイドに通す。
2 お子さまの肩の高さに合わせてベルトガイドの高さを調節する。
警告: ベルトガイドの不適切な高さでの使用は危険です。必ずお子さまの成長に合わせて高さを調節してください。

2 お子さまの肩の高さに合わせてベルトガイドの高さを調節する。
警告: ベルトガイドの不適切な高さでの使用は危険です。必ずお子さまの成長に合わせて高さを調節してください。

D-10 ハイバックモードの取り付け完了チェック

ハイバックモードの取り付け完了チェック

Check: お子さまを座らせ、車両シートベルトを締め、①～⑥を必ず確認してください。
1 ジュニアシートと車の座席との間に大きなすき間がないこと。
2 車両シートベルト(肩側)がベルトガイドを通り、お子さまの首にかかっていないこと。また、確実に肩にかかっていること。
3 車両シートベルトがお子さまの体に密着して、ゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。
4 車両シートベルト(腰側)がお子さまの腰骨のできるだけ低い位置にかかっていること。
5 車両シートベルトのタングが車両バックルに確実に差し込まれていて、はずれないこと。
6 車両シートベルトが左右のアームレスト下側のベルト通し位置を通っていること。

E-1 ブースターモードの使い方 使用前の準備

使用前の準備
体重 22kg以上～36kg以下
身長 117～145cm
年齢 6才頃～11才頃
使用方法 幼児ベルトやバックルを収納し、背もたれを取りはずして座面のみで使用します。
警告: 本製品は3点式シートベルト専用です。2点式シートベルトでは使用できません。

E-2 車への取り付け方

ブースターモードへの変更の仕方
1 チャイルドモードから変更する場合、先にD-2～D-6の作業を行います。
2 座面を車の座席に置いて、車両シートベルトを引き出す。
警告: 本製品は車両シートベルトで固定していない状態では不安定なため、お子さまが1人で乗り降りすると転倒などによりケガなどをされるおそれがあります。

E-3 お子さまの座らせ方

お子さまの座らせ方
一度タングをはずしておき、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して、車両バックルにタングを「カチッ」と音がするまで差し込む。
警告: お子さまの腕は必ず車両シートベルトの上に出してください。

E-4 ブースターモードの取り付け完了チェック

Check: お子さまを座らせ、車両シートベルトを締め、①～⑥を必ず確認してください。
1 車の座席のヘッドレストが取り付けられていること。
2 車両シートベルト(肩側)がお子さまの首にかかっていないこと。また、確実に肩にかかっていること。
3 車両シートベルトがお子さまの体に密着して、ゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。
4 車両シートベルト(腰側)がお子さまの腰骨のできるだけ低い位置にかかっていること。
5 車両シートベルトのタングが車両バックルに確実に差し込まれていて、はずれないこと。
6 車両シートベルト(腰側)が左右のアームレスト下側のベルト通し位置を通っていること。

F-1 チャイルドモードへの戻し方 幼児ベルトと肩ベルトハンガーの取り出し

ハイバックモード(D-1参照)やブースターモード(本面 E-1参照)から、チャイルドモード(F-2参照)に戻す場合、座面に収納されている幼児ベルトと肩ベルトハンガーを取り出し、セットします。
1 ハイバックモードの場合、座面から背もたれを取りはずす。
2 座面を裏返し、肩ベルトハンガーをはずす。
警告: 取り付け金具を取りはずしたり、位置を変更したりしないで下さい。本来の機能を果たさず危険です。

F-2 幼児ベルトの取り付け

幼児ベルトの取り付け
1 幼児ベルトを左右の差込タングに、ねじれのないように注意しながら通す。
2 幼児ベルトを本体背面に引き出す。
警告: この作業は本体が不安定な状態になりますので、座面から背もたれを取りはずした状態で(F-2参照)、作業を行ってください。

F-3 幼児ベルトの取り付け

幼児ベルトの取り付け
1 幼児ベルトを左右の差込タングに、ねじれのないように注意しながら通す。
2 幼児ベルトを本体背面に引き出す。
警告: この作業は本体が不安定な状態になりますので、座面から背もたれを取りはずした状態で(F-2参照)、作業を行ってください。

F-4 幼児ベルトの取り付け

幼児ベルトの取り付け
1 幼児ベルトを左右の差込タングに、ねじれのないように注意しながら通す。
2 幼児ベルトを本体背面に引き出す。
警告: この作業は本体が不安定な状態になりますので、座面から背もたれを取りはずした状態で(F-2参照)、作業を行ってください。

F-5 幼児ベルトの取り付け

幼児ベルトの取り付け
1 幼児ベルトを左右の差込タングに、ねじれのないように注意しながら通す。
2 幼児ベルトを本体背面に引き出す。
警告: この作業は本体が不安定な状態になりますので、座面から背もたれを取りはずした状態で(F-2参照)、作業を行ってください。

F-6 幼児ベルトの取り付け

幼児ベルトの取り付け
1 幼児ベルトを左右の差込タングに、ねじれのないように注意しながら通す。
2 幼児ベルトを本体背面に引き出す。
警告: この作業は本体が不安定な状態になりますので、座面から背もたれを取りはずした状態で(F-2参照)、作業を行ってください。

G-1 お手入れの仕方

ヘッドサポートとランバーサポートの取りはずし
ヘッドレストカバーの取りはずし
1 ヘッドレスト上部背面にあるホックをはずす。
2 カバーの上部から下へはずす。
3 ベルトガイド部のゴムベルトをはずす。
4 ヘッドレスト下部のゴムベルトをはずし、下方向に引く。
注意: 取り付けは、取りはずしの逆の手順で行います。

G-2 お手入れの仕方

背もたれカバーの取りはずし
1 背もたれにある左右3ヶ所ずつ計6ヶ所のホックをはずす。
2 背もたれカバーを斜め下方向に引き抜く。
座面カバーの取りはずし
1 座面を裏返してゴムベルトをはずす。
2 座面を裏返し、ゴムベルトをはずす。
3 背もたれカバーを斜め下方向に引き抜く。
4 背もたれカバーを斜め下方向に引き抜く。

G-3 お手入れの仕方

洗濯方法
シートカバーなどの織製製品の洗ひ方
●肩ベルトカバー・シートカバー・バックルカバーは中性洗剤を使用して水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
●脱水はさけ、タオルなどで押し絞らず、風通しのよい日陰に干してください。
日常のお手入れ方法
●樹脂部は水または、から拭きしてください。
●掃除機などで、ほこりやこみを取ってください。
●飲み物など、しみの染みやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
●ガソリン・シンナーのご使用は、表面の生地や樹脂をいためますので、絶対におやめください。

G-4 保管/廃棄の仕方/製品仕様

保管
本体 長期使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かず、風通しの良い場所で直射日光を避けて保管してください。
廃棄
●お住まいの自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。
●衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外見に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどをはずして、廃棄してください。
製品仕様
製品サイズ: W440xD480xH695
製品重量: 本体...5.4kg
材質: 本体...PE
シートカバー...表/ポリエステル 裏/ウレタン

G-5 保証書

保証書
保証期間 お買い上げ日より1年間(ただし保証規定による)
商品名 シリアルNo.(座面の裏面に貼ってあるシールに記載されています)
お買い上げ日 年 月 日
お名前
住所(〒) TEL
TEL
販売店
店名
保証規定
1. このチャイルド&ジュニアシートは、保証期間内において、万一不具合が生じた場合は、本書をご提示の上、当社お客様相談室、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
2. 保証期間内に正常な使用状況において、万一故障が生じた場合は無料で修理いたします。
3. 保証期間内であっても次のような場合は有償修理になります。
● 落下等の衝撃によるプラスチック部品の破損。
● シートカバー、縫製部品の摩耗や破損。
● お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
● 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障及び損傷。
● 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を間違えた場合。
● 本書のご提示がない場合。
● 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用された故障した場合。
● 有償修理の場合に要する運賃等の諸経費。
4. 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものではありません。
5. 保証期間は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものではありません。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものではありません。
8. 保証期間は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものではありません。
9. 保証期間は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものではありません。
10. 保証期間は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものではありません。

G-6 リーマン株式会社

リーマン株式会社
〒496-0911 愛知県瀬西市西保町南川原 68-1
お客様相談室 TEL: (0567)27-0173
受付時間 月曜日～金曜日(祝日) 弊社指定窓口(株主さま)AM10:00～12:00 PM1:00～5:00
※製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたらお客様相談室へご連絡ください。
※製品の性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。